

☆☆☆コロナとわたしたち②☆☆☆

2020年9月

あおつか とおる
青塚 徹

じどう
児童のみなさんへ

がっこうせいかつ
学校生活を「かくじつに続けていくためのコツその7」をお伝えします。

かくじつに続けていくためのコツその7・・・仲間を助けたい！

へんきょう てあら しょうどく も もの てんけん
勉強、手洗い、消毒、持ち物の点検、やることがたくさんあります。でも、自分に余裕があるときは、こまっている仲間を助けてあげたいと、思うときもあるでしょう。

「助けてあげると、かえっていやがられるかな・・・」とか、「助けてあげると、えこひいきしてるって、ほかの人に思われるかな・・・」とか、考えてしまうかもしれません。そう考えてしまって、助けることができないときが、あるかもしれません。

そんなときは、したのような順番で、仲間を助けてあげましょう。

1. 仲間に近づいて、様子を見る・・・すぐに手を出さないことも大事です。仲間も、がんばっている最中だからです。助けてあげたほうがいいか、よく見てみましょう。

2. 「手伝ったほうがいいかな？」ときいてみる・・・助けてほしいかどうかきいてみることで、仲間の気持ち大切にしましょう。自分ひとりでやりたいのかもしれない。

3. ことわられても大丈夫・・・ことわられても、「助けたい」という自分の気持ちは伝えたので、気にせずその場からはなれましょう。

参考：相川充・猪刈恵美子（著）「イラスト版子どものソーシャルスキル・友だち関係に勇氣と自信がつく42のメソッド」合同出版

できたらいいな！

じゅぎょうちゅう
授業中、つられておぼざけ、

はんせい
すぐ反省！